

聞こえない人に伝える方法は？

※個人差があります。いくつかの方法にこだわらず、相手に伝える方法をお願いします。



筆談

文章は短く・簡潔に書いて下さい



口形

(口の形を読み取る)
口を大きく開け、ゆっくりはっきりと話をして下さい



空書

目の前に黒板があるとイメージして文字をひとつひとつ区切って大きく書く(口形もつけて下さい)

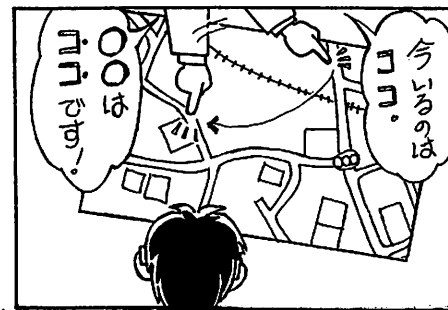


身ぶり

指で数を表したり、方向を示して下さい

地図を使って説明する(相手に伝える)

聞こえない人にとって、目から得る視覚情報はとても大切です。
絵や**写真**、**パンフレット**等を活用し、指さしをしてわかりやすく伝えて下さい。



※話をする時は**視線を合わせる**、背後から呼びかけるときは**肩をたたく**という行為も必要です。



マスク

マスクをしていると口の形が見えません
マスクははずして下さい



大声

聴力のレベルには個人差があり、補聴器をつけていても聞こえない事があります。大声は「音がする」のほわかるけれど、「言葉」の判別はできません

『今カンにあた』、『事故に巻き込まれた』等聴覚障害者が交番に助けを求めて来る場合もあります。繊細で複雑な問題の場合は、相方意志の疎通をスムーズに行う為にも**手話通訳**や**要約筆記**の利用をお願いします。相談は

手話通訳

手話通訳等の派遣をしています
長野市聴覚障害者センター
テフネットながの
開所/平日 8:30~17:15 (受付~16:30)
休日/土日祝日・年末年始
〒380-0904
長野市錦貫276-10 (長野市障害者福祉センター内)
TEL 026-229-5557 FAX 026-229-5558

聴覚障害への情報提供等を行なっています
長野県聴覚障害者情報センター
【開館時間】平日・土曜日：9時~21時
日曜・祝休日：9時~17時
〒381-0008 長野県長野市下駒沢586
長野県障害者福祉センター2F
FAX 026-295-3567 TEL 026-295-3530

知って下さい 私たち聴覚障害者のことを!!

一般の人が交番を訪れるのは どんなときでしょうか?

「道がわからない」、「落とし物をした」など、相談や困り事がある時が大半です。

私たち聴覚障害者も「道に迷った」、「サイフを失くした」時には、近くの交番に駆け込みます。

ここには「聞こえない人」に通じる為の方法をいくつか取り上げてあります。様々な伝達方法があると知っていただき、万一の場合は勿論のこと、普段から活用していただければ幸いです。

※個人差があります。ひとつの方法にこだわらず、相手に伝わる方法をお願いします。

仕事では・・・

- ・朝礼や会議、研修会等の内容が分からない
(手話・要約筆記通訳者がいないと、大事な用件を伝えてもらえない)
- ・上司の指示が伝わらない
- ・同僚との意思疎通が十分でない
- ・永年勤続しても昇進できない



買い物では・・・

- ・タイムセールのアナウンスが聞こえない
- ・店員の説明内容が十分理解できない
- ・買い物の通訳者派遣は認められていない

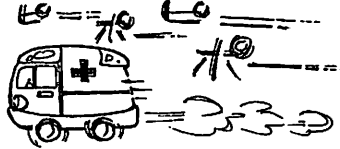
公共の場では・・・

- ・駅で何らかのトラブルによる列車遅れのアナウンスが聞こえない
- ・エレベーターが急に停止しても電話(インターホン)では対応できない
- ・銀行のATMで不具合があっても電話では対応できない

他にも聞こえない人はこんな問題を抱えています

病院では・・・

- ・名前を呼ばれても聞こえない
- ・病状説明や薬の説明が十分理解できない
- ・急病時、救急車や病院へ電話連絡ができない



災害時では・・・

- ・避難指示、警報が聞こえないので逃げ遅れてしまう
- ・避難所での情報が音声だけなので、配給などもらえない
- ・テレビに手話通訳・字幕がないので情報が得られない
- ・避難所で、周りの人とスムーズにコミュニケーションがとれない

音声情報だけでは



逃げ遅れてしまう

命に関わる問題です